

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム青葉の家
(ユニット名)	2号館
所在地 (県・市町村名)	愛知県豊橋市嵩山町字松田55
記入者名 (管理者)	清原 隼子
記入日	平成19年10月26日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	保育園や地域の子供さん等皆様とのふれあいを行っている。	<input type="radio"/> 小学校保育園の運動会等に参加する。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	カンファレンスを行い話し合っています。月1度の部会で職員全体で話しあい具体的な意見の統一を図っています。	<input type="radio"/> ミーティングを行い職員全体で話し合いケアについての意見を話し合う。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	新聞を発行し家族の方や地域の人々に広めています。	<input type="radio"/> 御家族には訪問時にくり返し伝える、伝えていく。
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	毎日近所の方に挨拶は勿論、時には地域の方たちとの会話も少しずつ行っています。	<input type="radio"/> 畑を耕している時に時の挨拶し話しかけもする。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	交流を深めています。近くの中学体験学習や運動会等に声かけを行っています。	<input type="radio"/> 行事等に参加し地域の人々との交流をする。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の学生さんに実習を試みて頂いています。	○	絵画教室に参加し他者との触れ合う時間を設ける。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	毎年評価をするにあたって昨年の反省も踏まえてお互いにコミュニケーションを大切にしています。	○	昨年を振り返り反省し話し合う。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では事業所の報告と参加者の質問、意見を多数頂き和気あいあいに話しが進んでいます。	○	家族の意見、地域の方達の意見を聞き、日々努力していく。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	職員や利用者との交流を図っています。	○	これからも積極的に行っていききたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	会議の場を設け話しあい、支援しています。	○	部会を開き説明をきく。必要な方には場を設ける。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	カンファレンスを設けどんな小さな事も話し合っています。	○	パンフレットを見たり事例を読んだり防止に努める。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> <p>家族の不安 疑問を聞き説明をし理解を得ています。</p>	○	家族等との話し合う場所を設ける。
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> <p>介護相談員が時々面会に見えその時に、入居者の方達と色々話を聞いて下さっています。</p>	○	介護相談員の方たちが外部のお話をして下さったり、又外部への繋がり機会を設ける。
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> <p>定期的に新聞を発行し訪問時に写真を見て頂いています。ケース記録も見てもらいサインを頂いています。</p>	○	利用者自身の年賀状等を家族に送る。
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> <p>意見不満や苦情を聞き職員共々話し合っています。</p>	○	意見箱の備え付け、管理者に相談したりする。
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> <p>部会を開きお互いに意見を出しあいよい方向に向けて話しあい反映させています。</p>	○	職員の意見を聞き質の向上につながる様努力している。
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> <p>管理者は、状況に応じて対応出来るよう通常のシフトに入っていないため、夜間の対応や利用者の状態の変化に応じた柔軟な体制が取れています。</p>	○	職員の急病、退職の時応援をしてくれる様確保する。
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> <p>各ユニットの職員を固定化し顔なじみの職員によるケアに心がけている。</p>	○	職員の移動は最小限に抑えたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護の研修を行っている。又事業所以外での研修の時は資料を配布しています。	○ A B AA課程とそれぞれレポートを提出し、義務づけている。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他ホームの職場実習を行った。その中でよい事を実践し質の向上を、目指しています。	○ 他施設との交流を図りケアの方向性に向けて取り組む。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員の疲労やストレス要因について、気を配り職員同士の人間関係を作るよう努力しています。	○ 職員同士個々の対応をするよう勤めていきたい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員評価を行っています。又資格習得を勧める、又健康診断の実施を行っています。	○ 職員仲良く明るい職場にしそれによって、入居者の心地よい生活につながる。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前に生活状態を把握するよう、職員が本人に受け入れられるような関係作りをします。	○ 利用者が家族の思いを受け止め安心して貰える関係作りに努力したい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	これまでの家族の苦労やサービス利用状況等ゆっくり聞くようにしています。又どのような対応が出来るか話し合っています。	○ 相談する家族の立場になって話を聴きよりよい関係を作っていく。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談事、本人や家族の思いを確認し可能な限り対応しています。	○	地域包括支援センター、病院、事業所との連携を蜜にしている。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居され1、2週間は淋しさが募る。そんな時には散歩に出たり話を聴いたり、時には面会に来ていただき、ひと時を過ぎて頂いています。	○	職員や他の利用者、場の雰囲気になれずにつれ馴染めるよう家族等と相談しながら行う。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	支援する側、される側と言う意識を持たず、お互いに協働しながら穏やかな生活が出来る場所作りや、声かけをしています。	○	一緒に過ぎ喜怒哀楽を共にし利用者の安心安楽に勤めたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員は家族の思いに寄り添いながら日々の暮らしや出来事や気づきの情報共有に勤め本人と一緒に支える為に家族と同じような思いで支援している事を伝えていきます。	○	日々の暮らしの出来事、気づきの情報共有の勤め支援して行くよう努力したい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族の本人への思い、本人の家族への思いを受け止めて、両者の思いが結びつくように心がけています。	○	外出で家族との一緒に過す様、又行事に家族を誘いよい関係に繋がる。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	宗教に入っている方にはその会とのつながり、お友達との面会に居室にて楽しく過ごされており一人一人の生活習慣を尊重しています。	○	子供、友達との関係を途絶えないよう配慮する。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係についての情報をすべての職員が共有出来る様にしています。又心身の状態や気分、感情で日々時々変化する事もあるので注意深く見守るようにしています。	○	利用者同士の関係や個性をうまく活かす配慮をし支援をしていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	例えば入院を長くされ退去される場合面会に行き楽しいひと時を過したりしています。	○	サービスが終了しても長期にわたりコミュニケーションを取っていきたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	言葉や表情等からその真意を指し、図ったりそれとなく確認するようにしています。家族や関係者から情報を得るようにしています。	○	入居者が自分らしく暮らし続けるように、職員全員で一人一人の思いに関心を持って、把握するよう努めたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人自身の話や家族等の訪問時等少しずつ把握し努めています。	○	プライバシーに立ち入ることなのでケアに活かすという目的を忘れないようにしています。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	出来ない事より出来る事に注目してその人全体の把握に努めています。	○	本人のできる力を暮らしの中で発見していくよう努めていきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	一人一人のその時点に添った個別、具体的な計画を作成しています。	○	本人によりよい暮らしをして頂く為に何が必要か家族とともに本人本位の介護計画を大切にしていきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	職員が情報を確認し家族や本人の要望を取り入れて期間が終了する前に見直し状態が変化した際には終了する前でも検討見直しをしています。	○	実践的な対応が出来る介護計画であり、その都度臨機応変な対応が出来る計画を作るよう心がけている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員の気づきや利用者の状態変化は個々のケア記録に記して職員間の情報共有をしています。個別記録を基に介護計画の見直し、評価を実施しています。	○	よりよいケアにむけて日々の職員間のケアに活かしている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人家族の状況に応じて通院等必要な支援は柔軟に対応し個々の満足度を高めるよう努力しています。	○	本人や家族の状況に応じてその時々々の要望に応じて柔軟な支援をしていく。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	利用者が安心して地域での暮らしを続けられるよう民生委員や相談員と意見をされるよう場を設けています。	○	外の暮らし、今の流行などを、利用者が情報を、応援をもたらして下さるよう協力を得ている。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の希望や体調に応じて訪問理髪サービスを利用いただいています。	○	訪問調査の方たちや嵩山小学校の実務研修などにいろいろな支援をいただいている。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会に地域包括支援センターの職員が参加するようになり周辺の情報交換協力関係が強化されています。	○	権利擁護を利用される方、地域包括支援センターと協働しながら支援に繋がるよう勤めたい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。受診や通院は、本人や家族の希望に応じて対応している。基本的には家族同行となっているが、不可能な時には職員が代行しています。	○	本人や家族の希望に応じて対応しています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	家族や職員のはなしを良く聞いてもらい支持や助言をもらっています。	○	医師と信頼関係を築きながら相談に応じてもらえるよう努めていきたい。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	常に利用者の健康管理や協力医に相談し支持をあおいで居ます。	○	少しの体の変化にも素早く観察し報告をする。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には本人の支援方法に関する情報を医療機関に提供し頻りに職員が見舞うようにしています。又家族と情報交換しながら行って居ます。	○	医療機関や家族との連携、確認をその都度行っている。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化に伴う意志確認書を作成し事業所が対応し得る最大のケアについて説明を行っています。	○	
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	本人の気持ちを大切にしつつ、家族と話しあい利用者が安心して終末期を過して行けるよう取り組んでいます。	○	ここが一番と最後まで思われる様な環境に取り組んでいく。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他の事業所に移られた時アセスメント、ケアプランや支援状況を手渡すとともに情報交換を行い馴染みの職員が機会を作って訪問に行く等リロケーションダメージを最小限に食い止めるように勤めます。	○	移られた時点から折をみて訪問をしていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	他の家族や外来者に対して職員が本人のプライバシーに関する事は話さないようにしています。	○ 本人の常識を把握し意志を大切にしたい。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	自分の好きな洋服を選んで頂いたり食事は何が嫌いかわかると聞き好みを把握しています。	○ 行きたい所、何かをしたい事、その人らしい生活をして頂く。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	時間を区切った過し方はしていません。一人一人の体調に気をつけながら本人の気持ちを尊重して出切るだけ個別性のある支援を行っています。	○ したい事、散歩に行きたい時、その都度利用者の意志に答えられるよう努力する。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	お化粧されたり、整髪されたり、それぞれ自分自身の身だしなみを出来る様心掛けています。	○ 利用者と一緒に洋服選びや髪型のアドバイスをしながら、毎日の生活の張りにして頂く。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みを聞き誕生会等に作ったり、又手伝って頂いたりしています。	○
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	タバコについては職員が預かり、本人の本人の希望に添って他の利用者の迷惑にならないよう換気のよい場所で吸える様に心掛けています。	○ 正月や誕生日会大きな行事にはお酒類等好きな方に飲ませてあげたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	時間や週間を把握しトイレ誘導する事でトイレでの排泄を促している。	○	人それぞれに排泄パターンがあるので全員の気持ちに応えられるよう頑張る。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人一人の希望を聞き毎日入られる方一日おきの方とそれぞれあります。皆さん入浴が大好きで拒否される方はいません。浴槽の中で歌をうたいます。	○	もう少しのんびりにはいらせてあげたいときもあります。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	なるべく日中の活動を促し生活リズムを整えるよう勤めています。一人一人の体調にあわせゆっくり休息が取れるようにしています。	○	102歳、100歳と高齢の方が多い中、居眠りをされている方歌を歌っている方それぞれ好きなように生活をしている。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人一人の力を発揮して貰えるよう出来そうな仕事を頼み感謝の言葉を伝える様にしています。	○	お仕事が大好きな方ばかりで、何をしようか迷うばかりです。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	少しのお金を持っている人もいます。ほとんど家族より預かり事務所で保管しています。時々お金を持って喫茶店へコーヒーを楽しむ時もあります。	○	利用者様のほしい物等、職員が購入している。買い物へもいく。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気、本人の希望や気分に応じて季節を肌で感じて貰い心身の活性に繋がるよう、日常的に散歩等しています。時にはドライブにも出かけます。	○	家族も一緒にドライブに誘ってみたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節感を味わってもらう為にドライブに行ったり、催し物を見に行ったりしています。	○	それぞれの趣味を把握し催しものがあれば、見に行く。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	どうしても電話で話したい方は、家族からかけて頂き本人と話をして貰っています。安心感が出来て喜ばれます。	○	
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問時間など定めておらず、仕事の帰りや家族の都合のよい時間帯にいつでも尋ねて頂けるようにしています。	○	他の入居者も一緒になってお話されます。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	カンファレンスを開き申し送り等で、これは身体拘束に当てはまらないか職員同士で話し合うようにしています。	○	拘束について部会等で勉強をしている。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室の入り口の鍵をかうことは拘束の一部と思い絶対にしてはいけません。職員同士で話し合っています。	○	
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	さりげなく全員の状況を把握している。夜間は数時間毎に利用者の様子を確認するとともに、起きられた時すぐに対応できる、居場所を工夫しています。	○	どんな小さな音にも機敏に動くよう訓練する、している。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	すべてを取り上げるのではなく、利用者の状況変化によっては注意を促していく様などケースに応じて対応しています。	○	入居された時点で確認をしていく、している。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハットを記録し職員の共有意識を図っています。	○	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	全てとは言えないがある程度の知識を備えています。又講習に行き職員に教えています。	○	応急手当の講習に行き訓練をしている。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練をおこなっています。地域の学生さん参加もして下さっています。	○	訓練は大切ですのでマニュアルを作ったり訓練を蜜に行う。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族の希望も取り入れ入居者の安全優先し、自由な動きをして頂いています。そこを家族に理解を得る。	○	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝顔の表情、目の色、を観察しバイタルチェックや、皮膚観察を行っています。又連絡も密に行っています。	○	どんなことにも繋がる ほーれんそー 報告 連絡 相談を守る。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	確認と薬を行う。又処方箋を見て薬の把握をする。	○	
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便チェック表の記入を毎日確認し個人個人の状態を把握しています。	○	水分補給をしっかりと取り、腹圧マッサージをしたり工夫をする。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケアを行っています。義歯もはずし介助しています。	○	残渣物がないか、口腔内をよく観察をする。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	外注により専門の方が献立して下さるので、栄養バランスは取れています。嚥下の悪い方には、ミキサー食等で工夫しています。	○	水分補給は出きるだけ多く取っている。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染については早期発見にて対応しています。マニュアルに添って職員で学習しています。	○	食前の手洗い食後の口腔ケア、消毒、外出後の手洗いが職員も行う。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板や布巾等は毎晩漂白し清潔を心がけています。冷蔵庫も点検し食材も残りは鮮度を確認し、冷凍したり処分したりしています。	○	
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関の周りには花壇を作ったり畑には色々な野菜を作っています。そうして季節感を味わって頂いています。	○	
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールや廊下の飾りつけを工夫したり、四季の歌を歌ったりして季節を思い出して頂いています。	○	施設の周りには、山があり畑がありで季節感を味わっている。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールのソファーに座り会話されたり、ジャンケンをしたりして楽しまれていただける雰囲気を作っています。	○	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	昔から馴染みのある家具、寝具にて生活をして頂き、テレビも好きな方には自由に見て頂いています。	○	居室にてくつろげる雰囲気をつくっています。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	温度調節にはエアコン等を使用していますが、朝起床時に窓を開け換気に努めています。	○	
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全確保と自立への配慮をしています。	○	ラジオ体操を試みている
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	職員と話しあい本人の不安材料を取り除き、力を取り戻せる様こころみしています。	○	一人一人の得意分野があります。そこを活かしたい。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	周りには花や山に囲まれた生活です。イチゴを作ったりサツマイモを取り入れたりして、楽しまれています。	○	

V. サービスの成果に関する項目		
項 目	最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある
		<input type="radio"/> ②数日に1回程度ある
		<input type="radio"/> ③たまにある
		<input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/> ④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

運動会や絵画教室、夏祭り、ドライブ、正月の初詣に取り組んでいます。